





二〇〇八年五月三日から四日にかけて、スイス・ジュネーブ州カルーージュ市にて越山杯が開催されました。越山杯の名前の由来となっているのは越山進吾先生です。越山先生は国士館大学を卒業されたその五年後の昭和四十八（一九七三）年、合気道の指導普及のため、早稲田大学OBの天倉国博氏の後任として富木謙治師範の推挙により単身スイスに派遣されました。それから逝去される平成十二年（二〇〇〇）年まで、実に二十七年という長期間、生まれ故郷の日本から遙か遠くの異国の地において、合気道普及の為に活躍されました。この度、その越山先生の教え子といえる方々がホストとなって国際的な大会が開催されました。

日本からスイスに向かったのは、成山哲郎JAA師範、大森竜一JAA審判部長、酒井進之介（関西合気道競技連盟審判部）、杉本龍一（松楓会）、藤本和義、菅野健太郎、松下悦子、酒井朱音、松本ななみ、ニルフアーロバーツ（以上、JAA昭道館）の十名。昨年アメリカで開催された国際大会報告では、大会そのものだけでなく、道中のエピソードにも興味をそそるものがありました。今回はスムーズな旅だった様子。

会場は海外の大会会場としては珍しく、マットではなく畳が敷かれた会場で、三百畳ほどの広さでした。それでも参加者は百名を超え、ところ狭しと汗を流していました。

越山杯は競技大会・成山師範による合気道講習会、審判講習会の三本柱で開催されました。スイス自体、ドイツ語・フランス語・イタリア語・ロマンシュ語の四つの公用語を持つ国。欧州を中心に各国から集まった選手もまた別の言語を使用・・・ということ講習会は様々な言葉に通訳されて進められました。そんな中、日本から参加した方々はどうのように交流を図ったのでしょうか。言葉は通じなくても何とかなるというのがスポーツの良いところ?!

以下、参加者からの報告の極一部をご紹介します。

◆大森竜一（JAA審判部長）  
今回の遠征は、来年京都で行われます国際大会の下準備というところで、大会、成山師範セミナーと並んで、審判講習会も主に行事の一つと位置づけ、執り行われました。

大会前の審判講習会では簡単なルールの確認だけに留め、試合中及び試合後の審判講習会でしっかりとした講習を行いました。試合では監査審判員制度を設け、明らかにミスジャッジと思われるときには試合を一時中断し、審判員で一度下した判定について話し合い、再確認し、必要とあれば判定を変えるという形式で行いました。試合と審判講習を兼ねたわけです。異例とも言える試合の進め方でしたが、話し合いが特に長引くことなく、選手にとってもジャッジが正確に行われるという面で大変好評でした。海外の審判員が多い中、試合を中断する場面が多々ありましたが、審判員も真摯に事実を受け止め、より良い審判を心がけていました。試合後の審判講習会では、たっぷり時間を設け、日本語、英語、フランス語、スペイン語で講習が行われました。内容は、姿勢、突有、体捌き指導、捨て身技等の従来から個々の審判員によって判定が左右する事項の判断基準と、乱取法の考え方について説明をし、質疑応答を行いました。また監査審判員の導

入とその趣旨についても説明し、理解を得ました。大会での実際の審判経験と、直ぐ後での講習会でのチェック、審判員にとっては大変良い機会がもてたと思います。

◆酒井進之介（JAA関西合気道競技連盟審判部）

大会は初日に競技会が行われ、乱取競技個人戦と演武競技で熱戦が繰り広げられた。また二日目は午前には成山師範講習会、午後には協会審判講習会が開催された。本大会は今から二年前、成山師範の欧州歴訪指導の際に、スイスにて同地の指導者を前に、大会開催について提案されたのがきっかけであった。あの時の構想が今大会の盛況にぶりに繋がったことを目の当たりして、改めて「普及」についてのあり方を学ぶことのできた大会でもあった。

競技会の内容としては、過去に行なわれた国際大会に勝るとも劣らない、素晴らしい内容の大会であった。乱取競技においては、基本稽古の積み重ねを感じる事ができ、安定感のある試合が多く見られた。また選手同士にお互いを認め合う潔さがあつたため、良い技が随所に見られた。演武競技で良かったことは、参加した各組が規定の内容をしっかりと理解し、演技で何よりも、それらの技がしっか

りとした基本稽古の土台の上に成り立っていることを思わせるものであったことである。

成山師範講習会では姿勢や構え、単独の基本について時間をかけて説明がなされ、意識の統一と基本の周知徹底が図られた。どの参加者も大変熱心に聞き入り、非常に積極的であったのが印象的であった。

協会審判講習会で、次回国際大会で運用される一部改定後の乱取審判規定を一年以上前から欧州の地で講習できたことの意味は大きかったと考える。講習会には審判員や指導者の他にも多くの参加者があつたが、何方も真剣に聞き入り、また質問の場では積極的な発言も多くみられ、活気のある講習会であった。

◆藤本和義（JAA昭道館）

演武競技では、チームごとに特徴やリズムがあり、指導者の影響力の大きさを感じることができた。全体的には、受けを過剰なまでに誇張した所は無く、基本に忠実に稽古をしている感じを受けた。

乱取り競技は各チームが敵味方関係無く、技が決まれば拍手と歓声を湧き上げる。とても、良い雰囲気の中で試合が進んで行く。日本語の「ガンバレ!」が海外のチームから選手に向けてられているのとても気持ち良かった!特にスペインはチームで「ガンバレ!」の合唱で

## 第三十九回全日本学生合気道競技大会

平成二十(二〇〇八)年十一月九日(日)、東大阪市にある近畿大学記念会館にて第三十九回全日本学生合気道競技大会が開催されました。成山哲郎師範の大会講評と共に大会結果をご報告いたします。

大会を終えて

J A A師範 成山哲郎

全日本学生合気道競技大会は、合気道競技の創始者である富木謙治師範の夢と、それを理解し、大英断によりご協力された関西合気道界の実力者、小林裕和師範の運命的な出会いによって、昭和四五年一月一日に第一回目の大会が東京大久保スポーツ会館で開催されました。

第一回目は乱取競技のみの開催でしたが、第二回目からは稽古方法に違いはあっても、「良いものは誰が見ても良い」とする小林師範の言葉とその傘下大学からの強い希望もあり、演武競技がスタートいたしました。これにより、「形」と「乱取」の両輪を理想とした富木師範の稽古体系が学生合気道の大会にも活かされることになりました。

「乱取」は、攻防の中での勝機のつかみ方や技の連絡変化の方法を身につけ、練習が形式に流れるのを防ぎ、研究心を盛り上げて生きた技を習得する早道になります。

一方で合気道には乱取試合に盛り込むことのできない多くの技と格闘形態があり、これらを習得するためには「形」の稽古が欠かせません。

現代武道は「わざ」より入り、「みち」にいたるのがその特徴です。演武競技においても、乱取競技においても、他を鏡として自己を見つめ直す場に他なりません。本大会を通じ、選手皆様が大きく成長され、社会に羽ばたかれんことを心から願っております。

さて、本大会を終えて感じたところをいくつか申し上げます。

まず乱取競技において、男子団体戦で優勝された成城大学、女子団体戦で優勝された早稲田大学の皆さん、本当におめでとうございました。また男子個人戦においては本大会二連覇となる大阪商業大学の橋本宏太君、そして先日、京都で行われた来年国際大会のプレ大会となる関西大会に続き連覇された天理大学の山本理絵さん、本当におめでとうございました。素晴らしい内容だったと思います。

(越山杯参加レポートの続き)

試合を盛り上げていた。

成山師範のセミナーには大会に参加した選手を始め、審判やスタッフの方々も参加していた。参加者の半数は有段者で、残り各級の色帯が占めていた。その中に少数だが赤い帯を絞めた謎の人達がいた。後で知ったのだが、こちらで言う初級との事でした。国が変わると帯の色まで変わるとは驚きだ。実際に稽古してみると有段者は勿論のこと、緑・茶帯の中上級も意外と出来、全体のレベルの高さを感じた。

審判講習会では、初日の内容を踏まえ改めてルールを解説、それに加え監査の説明がなされた。監査の存在は審判、そして選手の立場として非常に有り難く重要な存在であると思う。全ての日程が終わわり、最後に会場の畳の撤去作業。全員で力を合わせ片付ける中、最後は「ガンバレ！ガンバレ！」の掛け声で何故か盛り上がる。「ガンバレ」が世界の共通語になる日も近いと確信したスイスでした。

### ◆菅野健太郎(J A A昭道館)

演武競技では競技レベルも日本と遜色なく接戦が繰り広げられていました。海外の選手は身軽で運動神経が良いものですから受身が上手く派手に見せるの

が得意な反面やりすぎて勝手に飛んでしまう面があります。その面をクリアすることができた。乱取個人戦は70名程のトーナメント方式、ルールは日本合気道協会の定める審判規定に準じて行われました。海外の選手の中に一際目立つビッグサイズの選手がいました。体重は推測で150kg、200kg、とても立派なお腹を持つその選手こそ私の初戦の相手でした。なにしろパワーがありますから掴ま

れてはいけないと思い、間合いを取り動き続けました。すると相手はこちらについて来れず、段々バランスを崩し始めました。そこでここぞとばかりに関節技を掛けると有効、技ありま

でとることが出来ました。ここに合気道の移動と間合いの重要性に改めて気付かされました。どんなにパワーのある相手でも

がちり持たせなければ、さほど脅威ではありません。相手より早く動きタイミングさえ合えば自分よりでかい相手でも十分に投げられるのです。その部分に探究心を持ったならば、競技になるでしょう。私が海外のメンバーに見習うべきだと思っただけ、それは応援です。でもリアクションの良い応援で試合自体を上手く盛り上げます。とくにスペインのチームは自分のチームでなくとも声援を送っていました。

記念すべき第一回目に乱取り競技で優勝できたことに皆様への感謝の気持ち一杯です。この勝利を踏み台にこれからの大会でも結果が残せるよう日々精進していきたいと思えます。

### ◆杉本龍一(松楓会)

我が国士館大学合気道部のOBでもある、越山先輩の功績を称えた本大会に参加させて頂いたことをこの大変光栄に思います。

乱取競技の二回戦が終わると、三回戦の相手は身長が2mを超えるような方でした。恐らく出場選手中で最も身長が高い相手に戸惑いましたが(横に一番大きい人は菅野さんと試合をされていましたが)、長い腕を掻いて下段と、相手に飛びつきながらの腕ひねりで一本を取って勝てました。

大会終了後、参加団体の懇親パーティーで各国の乾杯を耳にすることができました。たくさんの方が盛り上がっていて、笑い声や拍手、菅野さんの名前を歌うなどしてのしまれていました。大会中にも感じたのですが、海外の方々は参加選手だけでなく応援されている方も非常に大会を楽しまれました。私の試合の時もたくさんの方が応援してくれるなど、色んな垣根を越えて声をあげていました。この日のビールは最高においしかったです。

(「大会を終えて」の続き)

一方で勝負に拘泥する余り、「わざ」の交換ができていない競技内容もみられたことを指摘しなければなりません。

我々の合気道競技は富木師範が遺された言葉の通り、「勝とうと思わなければそんなに負けるものではない」のが特徴です。これは防衛のための防衛をすることを諫めたお言葉です。勝負に拘泥するばかりでなく、お互いの「わざ」を大いに交換していただきたいと思います。そのためにはお互いをもっと姿勢に意識して競技しなければなりません。それが合気道競技の今後の発展につながります。

次に演武競技について申し上げます。入賞された組は大変素晴らしい内容でしたが、惜しくも入賞に手が届かなかった組も甲乙つけがたく、旗のわかれたものも多く見受けられました。「技に嘘があつてはならない」とは、これも富木師範の言葉であります。受の正確な攻撃とこれに対する完全な体捌き、そして相手を十分に崩してから技に入ることを学生の皆さんは日々の稽古の中で活かしていただきたいと思います。

さて、最後になりますが、三年前、私のもう一人の師匠である小林裕和師範が本大会に寄せられたご挨拶の一文を紹介させていただきます。

「お互いが、お互い同志、切磋琢磨し合つて、己を磨き、他の良い所を吸収し、自分のもつて良いものは、相手に与え、そうしてお互い練り合つてこそ、合気道も大きく世界にはばたいていくのではないかと考えます。この大会は全日本学生合気道競技連盟が主催ではありますが、どうか名前にこだわることなく、どの学校の合気道でも参加の資格はございます。どうか、一校でも多くの参加を望んでおりますから遠慮なくお越し頂きたいと思ひます。」

来年、本大会は四〇周年を迎えます。益々合気道の輪を広げ、本大会の発展を祈願して私の言葉に代えさせて頂きたいと思ひます。

大会結果

- 短刀乱取競技団体戦【男子】
  - ①成城大学②帝京大学③国士館大学【女子】①早稲田大学②国士館大学③関西学院大学
- 短刀乱取個人戦【男子】①橋本宏太(大阪商業大学)②吉川学(国士館大学)③岩下真太郎(成城大学)【女子】①山本理絵(天理大学)②笹田香(近畿大学)③喜多小百合(関西学院大学)
- 演武【対徒手(男子)】①近畿大学(森田峻亮・泉健太郎)②早稲田スポーツ(金子裕明・堀川

以上

(越山杯参加レポートの続き)

短い期間でしたが行かなければできなかった経験、感動がたくさんありました。できることなら何度でも参加したいと思ひます。



↑演武競技の様子。コート内が赤畳一色です。

◆松下悦子(JAA昭道館)

毎年、成山師範、指導員の方々が出場の際の合間を縫って海外に指導にいかれています。私達道場生は当たり前のように本部道場で成山師範の指導のもと稽古をさせて頂いていただけるといふのは大変ありがたいことと知らなければなりません。海外では直接成山師範の指導を受ける機会というのは年に数日あるかないかではないでしょうか。

「越山杯」は毎年開催される「関西合気道競技大会」を社会人だけでしたようなアットホームな大会でした。大きくなった今の大会とはちがいが合気道を習い始めたときと同じ感じがして懐かしく思いました。オープンングパーティーでは選手や大会関係者が楽しく交流しておりました。全体に心のこもった大会でした。「越山杯」という第一回目のヨーロッパ大会では当初は思ってたような観光や食事もちの予定に合わせて連れていってくださり個人的にも十分に有意義で楽しい大会となりました。試合の方は私の場合には参加することに意義がありました。

力の大会に参加したとき、とても勉強になることが多く、合気道だけではなく人として得るものが非常に多かったからです。今回の大会にも参加を希望するかたはたくさんいたと思います。が、お仕事や金銭的な面でも簡単に決められる事ではなく、私自身この機会に参加できたことを本当に感謝しています。

第一日目の演武競技ではとてもスムーズに試合が流れていたと思います。参加人数も国際大会の時とは違いますから、アナウンスが多少わからなくて戸惑っても、周囲の人がフォローしてくれたりアットホームな雰囲気でした。有段演武はみんな本当に練習をされている人たちがかりだという印象を受けました。どこのペアが残ってもおかしくない中、決勝までいくことが出来たのはすごくラッキーだったと思います。私自身はニリさんと練習する時間もあまり取れず、自分自身の稽古も十分ではなかったのではと後悔しています。部分もありました。しかしながら決勝で演武が止まってしまふというミスが起こり惨敗しました。大会ではそのようなことが起こることがありますが、結局稽古に比例するのだと思ひます。

今回越山杯を通じて知り合った皆さんの仲間にならびに京都でお会いしたいと思います。そして日本のメンバーにもそれぞれ

◆酒井朱音(JAA昭道館)

今回大会に参加させて頂いたことが思ったのは、前回アメリカ

(越山杯参加レポートの続き)

の事情の中で、許されるならた  
くさんの人に海外で行なわれる  
大会にも参加して、一緒に盛り  
上げて行ってほしいと思いま  
す。

◆松本ななみ(JAA昭道館)

私は昭道館に、熱心な海外の  
稽古仲間が沢山います。短期滞  
在の方々とも毎日顔を合わせま  
す。ジュネーブ到着後、初めの  
サプライズは仲間との再会でし  
た。ニリ、アランミス、ジャ  
スティン、ジェロームさん、リ  
ンさん、スコットさん、セリー  
ンさん。緊張が一気に溶けまし  
た。でも、試合においては、演  
武では場にのまれました。乱取  
りでは、相手のパワーに圧倒さ  
れました。もう少し闘えると思  
っており悔しかったです。実力  
不足は歴然で、課題が沢山見  
つかりました。

大森先生のデモンストレー  
ションを入れた審判講習会は、わ  
かりやすく、体を使う大切さを  
知りました。Niluferを始め通  
訳をする方々を見ても、言葉は  
壁ではなくハードルだと思いま  
した。碎くのも当たるのでも  
なく、走りながら越えられるの  
です。

最後、歴史建造物や湖を見に  
連れて行ってもらいました。永  
世中立国になるまで、沢山の戦  
争を越えてきたこの国は、平和  
の象徴のようでした。帰国後、

私は色々な物への見方が変わ  
りました。あまり転ばなくなり  
ました。いままで、空を見上げ  
ながら歩いていました。ですが越  
えられると知りました。今日も  
同じ様に空は広がっています。  
違うのは土地です。この日本で、  
自分の足をしっかりと見て稽古  
を積んで行きたいです。

◆ニルファアーロバーツ(JAA昭道館)

越山杯はとても素晴らしい行  
き届いた大会でした。大会進行  
はスムーズで、結果にも満足し  
ています。各国から集まった道  
友は熱心にセミナーを受講し  
ていました。全体としてとても  
楽しく、親交を深めました。  
大会が終わってから、スイス  
チームのメンバーは、観光に案  
内してくれたり、おもてなしを  
してくださったりとても感謝し  
ています。

いつものように昭道館本部メ  
ンバーとして参加できることを  
嬉しく思いますし、私の力の限  
りこのチームをアシストし続け  
ていきたいと思えます。



第二十八回関西学生合気道新人競技大会結果

平成二十二年(二〇一〇)年十一月  
三十日(日)、大阪市住吉区にあ  
る住吉武道館にて第二十八回関  
西学生合気道新人競技大会が開  
催されました。

今回は、演武競技では予選か  
ら決勝に勝ちあがれる組数が少  
なくなりました。決勝進出者  
発表の時には、大学が読み上げ  
られる度にひととき大きな声  
(歓声というより叫びに近い)が  
あがっていました。乱取競技で  
今回目立ったのは場外を逃れよ  
うと必死に片足をコートに付け  
続ける姿。場外指導は少なく  
なったかもしれませんが、そこに  
気を取られて逆に技を掛けられ  
ることもちらほらありました。  
来年はそれがどのように進化し  
ているのか楽しみです。さて乱  
取競技女子の部では関西学院大  
学が優勝から第三位までを占め  
るといふ快挙を成し遂げまし  
た。上位三位独占というのは平  
成四(一九九二)年、第十二回大  
会で天理大学(女子の部)が達成  
して以来、実に十六年ぶりのこ  
とです。

以下、大会結果です。

- 演武競技■【対徒手(男子)】  
①関西学院大学今市達矢・田村  
浩一②近畿大学(瀬尾貴之・原  
誠人)③大阪商業大学(田中辰  
平・中濱友成)【対徒手(女子)】  
①関西学院大学(駒田慶子・喜多



- 小百合)②奈良女子大学(佐々木  
麻希・井手法慧)③大阪芸術大  
学(高陸伊藤陽子)【対武器(男  
子)】①関西学院大学(西蔵悠・  
國枝克朗)②早稲田大学スポー  
ツ合気道クラブ(堀川正文・戸崎  
佳生)③近畿大学(八倉大輔・岩  
永秀一)【対武器(女子)】①奈良  
女子大学(世古口歩華・中彩子)  
②関西学院大学(橋本奈々美・田  
渕彩子)③奈良教育大学(岡部優  
里・神山欽奈)

- 短刀乱取競技個人戦■【男子】  
①花輪誠太郎(国士舘大学)②八  
倉大輔(近畿大学)③西竜馬(大阪  
商業大学)【女子】①橋本奈々美  
(関西学院大学)②橋本育実(関西  
学院大学)③駒田慶子(関西学院  
大学)

ここでスペースができたので  
編集後記

越山杯の大会結果は前号に  
記載いたしました。今号で  
は参加者の感想をお届けしま  
した。まがき部分ではいか  
にも実際に大会を見てきたか  
のような文面ですが、すべて  
参加者報告書や You Tube を  
参考に書いたものです。私事  
ですがスイスと関係が深い会  
社に勤めているということ  
で、親近感があり、締め切りに焦  
りながらも手抜きせずに編集  
させていただきました。決して  
他は手抜きという事ではあ  
りません!

「乱取検定」(By 伊達由美  
子)の最終英訳は前回に引き  
続きニリさんにお願いまし  
ました。フランスに旅行中とい  
うのに、チャットのような  
Email の応酬で、期限に間に  
合わせてくださいました。あ  
りがとうございました。

# Editor #  
Yumiko Date  
Kumiko Mantani  
# Special Thanks #  
Nilufer Roberts  
Shinnosuke Sakai

バックナンバーはウェブサイト

昭道報

検索



# 第二回短刀乱取検定

合気道乱取競技は実際の攻防の中で勝機のかみ方や技と技の連絡変化の方法やコツを学ぶことができ、また「競技の場」に身を置くことにより、強い精神力を養ったり礼儀・公正の態度も養ったりすることが出来ます。前号に引き続き今回も、合気道短刀乱取競技のルールを〇×クイズ形式で学んでいきましょう。

※ここでは通常の短刀乱取個人戦・団体戦でのルールを基準としています。混合団体戦の短刀乱取戦とは異なります。

※2008年8月30日に改訂された審判規定を基準にしています。

01	競技時間は前半・後半それぞれ1分30秒ずつ計3分とされる。
02	試合中に、短刀側が、短刀を左右持ち替えることはできない。
03	一方の競技者が”有効”以上の技をかけた後で、他方が”返し技”等によって”有効”以上の技をかけた時には後者の返し技等の技の方を認めるものとする。
04	”返し技”は短刀側が徒手側に両手で片腕を掴まれた場合にのみかけることができる。
05	短刀側が”返し技”をかける瞬間に徒手側が掴んだ手を緩めるもしくは施技を中止した場合でもその返し技は有効となる。
06	短刀による突き技は剣道における打突の原理をソフト短刀によって行うという考えからきたものであり、その原理である「気剣体の一致」を基準とする。
07	”回し突き”のように正中線を逸脱する突きも認められている。
08	短刀側の”突有”と徒手側の技が同時に決まった場合には”突有”を優先し得点を認める。
09	当身技、関節技、浮き技は立位の姿勢、又は片膝立ちの姿勢でかけることを原則とする。
10	徒手側が短刀側の短刀を捌く際、相手の手首等に衝撃を与えるような強い手捌きが効果的である。
11	徒手側が攻撃の際、短刀側の短刀を3秒以上突きの有効部位(両脇より下、帯から上(帯は含まない)の部分の身体の前面、側面、背面部分(身体の当該部分を覆ってこれにつけた腕を含む)につけられたままだことは指導の対象となる。

12	短刀側が徒手側のかける技を防御する際に、徒手側の腕を掴む、しがみつく、しゃがみ込む又は手刀を脇の下に入れて抱え込むといった行為は全て指導の対象となる。
13	技の得点は、一本4点、技有3点、有効2点、突有1点である。
14	反則にはその程度に応じて、”反則負け””注意””指導”の三段階をおいている。反則ポイントの合計が4点になった時点で反則負けとなる。
15	競技者の頭部を強打させる可能性のある技をかけた場合(正面当てや下段当等を施技する際、相手の下半身を抱えたり、極端に上に跳ね上げるなどして、相手の頭部に対する安全性の配慮を欠くような技をかけた場合)は反則負けとなる。
16	反則の得点については、注意は1点とする。指導は2回で注意1回、1点となり、ポイントは反則した選手の得点から減点される。
17	短刀側の突きと同時に徒手側が体捌きを行わずに接近したが、短刀側の拳が相手に当たってしまった時には短刀側の指導となる。
18	競技者が移動に因らず、急所又は肘関節に直接急激な負荷を加えて技をかける事は指導の対象となる。
19	観客等が競技者に対して競技時間の残り時間等を伝えることは声援の一つとして認められている。
20	競技は一方の競技者が前半8点を得点した時点で前半戦が終了、後半、12点目が得点された時点でワールドゲームとなり試合を終了する。

難しかったですか？簡単でしょ？ 答えは次ページ。

## 第六回関西青少年合気道競技大会(U-18)結果

日時：平成二十(二〇〇八)年七月二十日  
場所：住吉武道館(大阪市住吉区)

### ■演武競技■

【小学生低学年の部】① 鈴見仁哉・阪口創輝(昭道館本部)② 形山暢紀・獅野希望(昭道館本部)③ 廣瀬由幸・山根光太郎(昭道館本部)

■団体演武(コナミ杯)■  
① 瑞光中学 ② 昭道館本部 ③ 東岸和田教室

【小学生高学年の部】① 榎哲也・森川恵(昭道館生野)② 池田真悟・安居大道(誠心会)③ 西修太郎・西琴音(昭道館本部)

■短刀乱取競技個人戦■  
【中学生男子】① 池田太樹(誠心会)② 二川和生(新金岡教室)③ 大内康平(新金岡教室)

### ■本部

【小学生の部】① 小西美華・加藤一希(平野北中学)② 二川和生・大内康平(新金岡教室)③ 加賀舞雪・仲谷有香(平野北中学)

【中学生女子】① 小西美華(平野北中学)② 加賀舞雪(平野北中学)③ 鍛冶育実(平野北中学)

### ■高校生の部

【高校生の部】① 永谷尚之・尾上慎太郎(東岸和田教室)② 乾広平・平山昌輝(昭道館本部)③ 辻本宏輔・大内悠平(新金岡教室)

【高校生男子】① 荒木佑馬(昭道館姫路)② 大内悠平(新金岡教室)③ 尾上慎太郎(東岸和田教室)

### ■種目別混合団体戦■

【小学生の部】① 昭道館生野 ② 誠心会八尾 ③ コナミ連合(向日町・北千里・北助松)

【中学生の部】① 新金岡教室 ② 平野北中学 ③ コナミ連合(東岸和田・向日町)

### ◆最優秀選手賞◆

小学生の部：榎哲也(昭道館生野)  
中学生の部：小西美華(平野北中学)  
高校生の部：大内悠平(新金岡教室)

小学生の部：榎哲也(昭道館生野)  
中学生の部：小西美華(平野北中学)  
高校生の部：大内悠平(新金岡教室)



## 平成二十一年度 昭道館年間行事予定

1月	
1/05(月)	新年稽古始め(18:30～)
1/12(月祝)	協会新春稽古会[東京](時間未定)
1/16(金) -18(日)	寒稽古(少年部)(06:30-07:30)
1/19(月) -24(土)	寒稽古(成人部)(06:30-07:30)
1/25(日)	合同稽古・納会(13:00～)
2月	
2/08(日)	女子部稽古会(13:00-15:00)
2/11(水祝)	協会指導部冬季講習会[東京](時間未定)
2/15(日)	関西合気道競技連盟審判部総会 [場所未定](13:30～)
日時未定	第5回天理市合気道競技大会 [天理北中学校](日時未定)
3月	
3/07(土) -08(日)	関西本部春季研修会宿 [和歌山県湯浅]
3/20(金祝)	少年部合同審査会(09:00～)
3/22(日)	昇段級審査会(学生:09:00～ 一般:13:00～)
4月	
4/05(日)	昭道杯争奪戦(13:00～)
4/12(日)	定期研修会(13:00-15:00)
5月	
5/10(日)	審判部講習会(13:00-15:30)
5/10(日)	審査部総会(15:30～)
5/17(日)	有段者研鑽会(13:00-15:00)
5/17(日)	審査部講習会(15:30-17:30)
6月	
6/14(日)	第29回関西学生合気道競技大会 [住吉武道館](10:00～)
6/21(日)	少年部合同審査会(13:00～)
6/28(日)	昇段級審査会(学生:09:00～ 一般:13:00～)

7月	
7/05(日)	第42回天理市民体育大会合気道競技 [天理北中学校](09:00-15:30)
7/19(日)	第7回関西少年合気道競技大会 [住吉武道館](10:00～)
8月	
8/01(土) -02(日)	協会指導部講習会[場所未定]
8/09(日)	昭道杯争奪戦(13:00～)
8/10(月) -16(日)	夏期休館日
8/23(日)	定期研修会(13:00-15:00)
8/30(日)	少年部合同稽古会[場所未定](09:00-12:00)
8/30(日)	少年部合同審査会[場所未定](13:00-16:00)
9月	
9/06(日)	審判部講習会(13:00-15:30)
9/06(日)	審査部講習会(15:30～)
9/20(日) -23(水祝)	2009年国際合気道フェスティバル・第8回国際合 気道競技大会[京都市武道センター]
10月	
10/04(日)	昇段級審査会(学生:09:00～ 一般:13:00～)
11月	
11/01(日)	有段者研鑽会(13:00-15:00)
11/22(日)	第34回関西合気道競技大会 [阿倍野スポーツセンター](09:30-17:30)
12月	
12/13(日)	第29回関西学生合気道新人競技大会 [住吉武道館](09:30～)
12/20(日)	昇段級審査会(学生:09:00～ 一般:13:00～)
12/20(日)	昭道杯決定戦(審査会終了後)
12/20(日)	忘年会[場所未定](18:00～)
12/23(水祝)	少年部合同審査会(09:00～)
12/25(金)	稽古納め(18:30-20:30)
12/26(土)	本部道場煤払い(10:00～)
12/27(日) -1/04(月)	年末年始休館日

※ [角カッコ]は場所(記載がない場合は昭道館本部道場)。

※ (丸カッコ)は時間です(24時間表記)。



## 第二回短刀乱取検定解答 (問題は前ページ)

(01)○ (02)×-競技の中断により、競技者が開始線に戻った時には、短刀の左右の持ち替えをしてもよいこととされています。(03)×-技は先取を原則とするため、先の技の得点を認めています。(04)×-関節技、もしくは浮き技を施技された場合(この場合には片腕を両手で掴まれていなくても)にもかけることができるという改正がこの度なされました。短刀を持った腕を掴まれた際は、掴まれた腕(脇の下から手首、掌底も含む腕全体)又は反対の手によって“返し技”をかけることが出来、短刀を持たない腕を掴まれた場合には、短刀を持たない腕によってのみ“返し技”をかけることができます。(従来通り) (05)○ (06)○ (07)×-必ず正中線を通る突きでなければ“突き”としては認められません。一定の条件を満たす“巻き突き”は認められています。(08)○ (09)○ (10)×-指導の対象となります。(11)○ (12)○ (13)×-一本4点、技有2点、有効1点、突有1点となっています。(14)○-反則得点は、反則を与えられた選手の相手側の得点となります。「指導」2回で1点(「注意」1回分同等)、「注意」1点、反則負け8点(反則ポイント4点で反則負けとなるが、成立時に8点となる。)反則負けで競技が終了した場合は、競技のいかに関わらず、勝者8点、敗者0点となる。(15)○ (16)×-反則していない競技者の得点として加算されます。(17)×-武器を持った相手に対し、体捌きを行わず前に出てくる事は武道性を無視しているものと見なされ、徒手側の指導となります。(18)○-移動力の伴わない技は指導の対象となります。(19)×-観客は競技の公平性を欠く言動を慎まなければならないとされています。(20)×-前半8点差、後半に12点差となった時点でコールドゲームとなります。

# Shodokan Schedule for 2009

January	
5 <sup>th</sup> (Mon)	First practice of the year [Shodokan HQ](18:30 onwards)
12 <sup>th</sup> (Mon;NH)	New Year training by JAA [Tokyo](Undecided)
16 <sup>th</sup> (Fri) to 18 <sup>th</sup> (Sun)	Mid-winter training children [Shodokan HQ](06:30-07:30)
19 <sup>th</sup> (Mon) to 24 <sup>th</sup> (Sat)	Mid-winter training (adults) [Shodokan HQ](06:30-07:30)
25 <sup>th</sup> (Sun)	Special training and Mid-winter training party [Shodokan HQ](13:00 onwards)
February	
8 <sup>th</sup> (Sun)	Special training for women [Shodokan HQ](13:00-15:00)
11 <sup>th</sup> (Wed;NH)	JAA winter seminar[Tokyo](Undecided)
15 <sup>th</sup> (Sun)	Kansai referees' meeting [Undecided](13:30 onwards)
Undecided	5th Tenri-city aikido tournament [Tenri Kita Junior High School](Undecided)
March	
7 <sup>th</sup> (Sat) to 8 <sup>th</sup> (Sun)	Kansai HQ spring training camp [Yuasa, Wakayama]
20 <sup>th</sup> (Fri;NH)	Examination (children) [Shodokan HQ](09:00 onwards)
22 <sup>nd</sup> (Sun)	Examination (Univ. Students 09:00-12:00/adults 13:00 onwards) [Shodokan HQ]
April	
5 <sup>th</sup> (Sun)	Shodohai randori contest [Shodokan HQ](13:00 onwards)
12 <sup>th</sup> (Sun)	Special training [Shodokan HQ](13:00-15:00)
May	
10 <sup>th</sup> (Sun)	Referee training course [Shodokan HQ](13:00-15:30)
10 <sup>th</sup> (Sun)	Judges' meeting [Shodokan HQ](15:30 onwards)
17 <sup>th</sup> (Sun)	Practice for black belts [Shodokan HQ](13:00-15:00)
17 <sup>th</sup> (Sun)	Judges training course [Shodokan HQ](15:30-17:30)
June	
14 <sup>th</sup> (Sun)	29th Kansai Student Aikido Tournament [Sumiyoshi Budokan](10:00 onwards)
21 <sup>st</sup> (Sun)	Examination (children) [Shodokan HQ](13:00 onwards)
28 <sup>th</sup> (Sun)	Examination (Univ. Students 09:00-12:00/adults 13:00 onwards) [Shodokan HQ]

<explanatory note>

\*[Venue](Time(with 24hour format))

\*NH--- National Holiday in Japan

July	
5 <sup>th</sup> (Sun)	42th Tenri athletics competition (with aikido event) [Tenri Kita Junior High School](09:00-15:30)
19 <sup>th</sup> (Sun)	7th Kansai Children's Tournament [Sumiyoshi Budokan](10:00 onwards)
August	
1st(Sat) to 2nd(Sun)	Special workshop by JAA [Undecided]
9 <sup>th</sup> (Sun)	Shodohai contest [Shodokan HQ](13:00 onwards)
10 <sup>th</sup> (Mon) to 16 <sup>th</sup> (Sun)	Summer holiday [Shodokan HQ]
23 <sup>rd</sup> (Sun)	Special training [Shodokan HQ](13:00-15:00)
30 <sup>th</sup> (Sun)	Special training (children) [Undecided](09:00-12:00)
30 <sup>th</sup> (Sun)	Examination (children) [Undecided](13:00 onwards)
September	
6 <sup>th</sup> (Sun)	Referee training course [Shodokan HQ](13:00-15:30)
6 <sup>th</sup> (Sun)	Judges training course [Shodokan HQ](15:30 onwards)
20 <sup>th</sup> (Sun) to 23 <sup>rd</sup> (Wed;NH)	2009 International Aikido Festival / The 8th International Aikido Tournament
October	
4 <sup>th</sup> (Sun)	Examination (Univ. Students 09:00-12:00/adults 13:00 onwards) [Shodokan HQ]
November	
1st(Sun)	Black belt training [Shodokan HQ](13:00-15:00)
22 <sup>nd</sup> (Sun)	34rd Kansai Tournament [Abeno sports center](09:30-17:30)
December	
13 <sup>th</sup> (Sun)	29th Kansai Student Tournament (Novices) [Sumiyoshi Budokan](09:30 onwards)
20 <sup>th</sup> (Sun)	Examination (Univ. Students 09:00-12:00/adults 13:00 onwards) [Shodokan HQ]
20 <sup>th</sup> (Sun)	Shodohai contest (final rounds) [Shodokan HQ](After the examination)
20 <sup>th</sup> (Sun)	End of year party [Undecided](18:00 onward)
23 <sup>rd</sup> (Wed;NH)	Examination (children) [Shodokan HQ](09:00 onwards)
25 <sup>th</sup> (Fri)	Final practice of the year [Shodokan HQ](18:30-20:30)
26 <sup>th</sup> (Sat)	Susubarai(Traditional end of year cleaning) [Shodokan HQ](10:00 onwards)
27 <sup>th</sup> -Dec to 04 <sup>th</sup> -Jan	New Year holiday [Shodokan HQ]



(Continue from page 10)

T / F	Q.12	Tanto will be penalized with a shido if, in defense against Toshu's efforts, they seize Toshu's arm, cling to Toshu, lean forward, or insert tegatana (hand sword) under Toshu's armpit.
T / F	Q.13	The waza are scored as follows: 4 points for an ippon, 3 points for a waza ari, 2 points for a yuko and 1 point for a tsuki ari.
T / F	Q.14	There are three kinds of penalties of varying degrees. They are hansoku make, chui and shido. When the number of penalties reaches 4, the player who accumulated the fouls loses the game.
T / F	Q.15	A waza which poses a danger to the opponent's head (e.g. because the player is holding the lower half of the opponent's body and/or lifting the opponent off the ground when applying a shomen ate, a gedan ate and so on) will result in hansoku make (disqualifying foul).
T / F	Q.16	The penalty points are as follows: 1 point for a chui, 1 point for 2 shido (equivalent to a chui). The points are deducted from the score of the player committing the foul.
T / F	Q.17	If Toshu moves forward as Tanto is striking and this results in the latter's fist touching Toshu, Tanto will be penalized with a shido.
T / F	Q.18	Applying any waza that puts direct and sudden pressure on vital spots and the elbow without movement will result in a shido.
T / F	Q.19	Informing the players how much time they have left is authorized as part of the cheering.
T / F	Q.20	The first half is over when a player scores 8 points. When a player scores 12 points, the game is over (called game).

## Randori Quiz - Part 2 Answer

Ans.01 True

Ans.02 False: Switching the tanto from one hand to the other is authorized once the referee has ordered the players to return to their starting positions.

Ans.03 False: The first waza takes precedence. So in this case, Toshu will get the point.

Ans.04 False: According to the new rules, Tanto may attempt a kaeshi waza if Toshu tries to do a kansetsu waza or an uki waza. If Toshu holds the tanto arm (this includes the wrist and the palm), their adversary may execute one of the five atemi waza using the left or the right arm. If Toshu holds Tanto's free arm, Tanto has to apply the counter techniques with that arm, not the tanto arm.

Ans.05 True

Ans.06 True

Ans.07 False: Tanto is allowed mawashi tsuki, which means to stab the opponent's flank with the tanto describing a curved trajectory within one's seichusen.

Ans.08 True

Ans.09 True

Ans.10 False: This will be penalized with a shido.

Ans.11 True

Ans.12 True

Ans.13 False: Ippon = 4 points, waza ari = 2 points, yuko = 1 point, tsuki ari = 1 point.

Ans.14 True: If a player commits a foul, points are awarded to the opponent as follows:

a. 2 shido (guidance), equivalent to 1 point (chui) in favour of the opponent;

b. Chui (warning), 1 point;

c. Hansoku make (disqualification), 8 points.

If 4 penalty points have been awarded, then this is judged as hansoku make with the award of 8 points. When a match finishes through hansoku make or a player is unable to participate (fusensho) the winner receives 8 points and the loser 0 point, irrespective of any score during the match.

Ans.15 True

Ans.16 False: Instead of the player who has committed the fouls having points deducted from their score, the opponent will gain additional points.

Ans.17 False: Toshu will be penalized with a shido for failure to do proper tai sabaki - tai sabaki is fundamental in martial arts, specially against a weapon attack.

Ans.18 True: A waza performed without ido ryoku (power stemming from movement) will be penalized with a shido.

Ans.19 False: The audience must refrain from shouting comments which may disadvantage one of the players.

Ans.20 False: Conditions for curtailing the first or second half of a match:

a. The first half finishes if the difference in the scores is 8 points or more.

b. The second half finishes if the difference in the scores is 12 points or more including the points from the first half.



Shodoho --- Newsletter of Shodokan ---

Supervisor: Tetsuro Nariyama (JAA Shihan)  
 Editor & publisher:  
 Public and press dept.  
 JAA Kansai Aikido Competition Federation  
 E-mail: shodoho@yahoo.co.jp




## Randori Quiz - Part 2



Quiz time! Let's get ready for Kyoto, where the next International Tournament will take place in 2009.

Randori Aikido was the brainchild of Kenji Tomiki Shihan. The practice of randori aims at exploring ways to create chances to achieve proper waza, and developing the ability to connect one waza to another from both offensive and defensive positions.

Kata practice allows us to develop spiritual strength as well as learn the proper etiquette, courtesy and fair play which govern the practice of aikido.

Test your knowledge of the rules of tanto randori here by answering 'true' or 'false.' If you have taken part in a randori competition before, we hope that you will score 100%. For those who have not competed yet, please try your best.

\*The following questions are based on the standard single and team randori rules effective as of the end of August 2008. Randori rules in mixed team events differ slightly.

T / F	Q.01	The duration of a randori bout is 3 minutes in total, with two periods of 90 seconds each.
T / F	Q.02	The tanto cannot be switched from the right hand to the left or vice-versa.
T / F	Q.03	If Toshu (the empty-handed player) performs a waza worth at least a yuko, and then Tanto (the player holding the tanto) executes a waza also worth at least a yuko, the last waza is valid for score.
T / F	Q.04	Tanto is only allowed to do a kaeshi waza if Toshu holds their arm with both hands.
T / F	Q.05	If Toshu lets go of Tanto's arm while Tanto is performing a kaeshi waza, the kaeshi waza remains valid.
T / F	Q.06	The tanto strike in Aikido uses the Kendo concepts of the stab and straight cut and the principle of kikentai no itchi (unity of mind, sword and body).
T / F	Q.07	Mawashi tsuki (stabbing the opponent's flank with the tanto describing a curve outside seichusen) is legal.
T / F	Q.08	If Tanto strikes Toshu at the same time as the latter applies a waza, a tsuki ari will be scored for Tanto.
T / F	Q.09	Toshu is allowed to perform an atemi waza, a kansetsu waza and an uki waza, in a standing position, or with one knee on the mat.
T / F	Q.10	When doing tai sabaki, Toshu is allowed to hit Tanto's wrist with force.
T / F	Q.11	If Tanto maintains the weapon on the prescribed part of the opponent's body (striking zone) for at least 3 seconds continuously, Toshu will be given a shido. The striking zone is between the armpit and belt levels (the belt being excluded) and includes the front, back and both sides of the body and the part of the arms between the armpit and belt levels.

(Continue to page 9)